



Asianux Server

自動アップデートツール 利用ガイド



目次

1. はじめに.....	3
2. ご利用の流れ.....	3
3. TSN への登録方法.....	4
3.1 GUI による登録方法.....	4
3.2 インストール直後の設定方法.....	8
3.2.1 登録手順.....	8
3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順.....	11
3.3 TUI での使用方法.....	12
3.3.1 登録手順.....	12
3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順.....	14
4. 自動アップデートツールのご利用.....	15
4.1 yum コマンドによるアップデート方法.....	15
4.1.1 yum コマンドの基本.....	15
4.1.2 yum コマンドの使用例.....	15
4.1.3 yum コマンドの応用.....	16
4.1.3.1 インストール DVD を yum リポジトリにする.....	16
4.1.3.2 グループ単位でインストールをする.....	17
4.1.3.3 キャッシュを作成する.....	18
4.2 GUI ツールによるアップデート方法.....	19
4.2.1 「ソフトウェア更新」の使用法.....	19
4.2.2 「ソフトウェアの追加 / 削除」の使用法.....	20
4.2.3 その他の機能.....	22
4.2.3.1 「ソフトウェア更新」の設定について.....	22
4.2.3.2 ログの確認について.....	23
5. トラブルシューティング.....	25
5.1 プロダクトキーに関するエラー.....	25
5.2 ユーザー ID、パスワードに関するエラー.....	26
5.3 製品が違う場合.....	26
5.4 有効期限が切れた場合.....	27
5.5 ネットワークに接続できない場合、または認証サーバーに接続できない場合.....	28
5.6 アップデートサーバーに接続できない場合.....	29

1. はじめに

このドキュメントは、Asianux Server 4 == MIRACLE LINUX V6(以下Asianux Server 4)、Asianux Server 7 == MIRACLE LINUX V7(以下Asianux Server 7)におけるパッケージアップデートツールについて記述します。

Asianux Server 4 および Asianux Server 7 では、自動アップデートツールとして「yum」と GUI ツールをご利用いただけます。

自動アップデートツールのご利用にあたって必要となる登録のうち、Asianux Technical Support Network (以下、TSN) への登録方法、そして、それぞれのツールのご利用方法について解説いたします。

TSN への登録、ご利用にはユーザー登録と製品登録が必要です。

以下の手順に沿って、事前のご登録をよろしく願います。

2. ご利用の流れ

- (1) ユーザー登録 / 製品登録
- (2) TSN への登録
- (3) 自動アップデートツールのご利用

(1) のユーザー登録 / 製品登録は以下の URL より願います。

<https://www.miraclelinux.com/user/user.html>

(2) の TSN への登録は「3 TSN への登録方法」を参照してください。

(3) の自動アップデートツールのご利用は「4 自動アップデートツールのご利用」をご覧ください。

3. TSN への登録方法

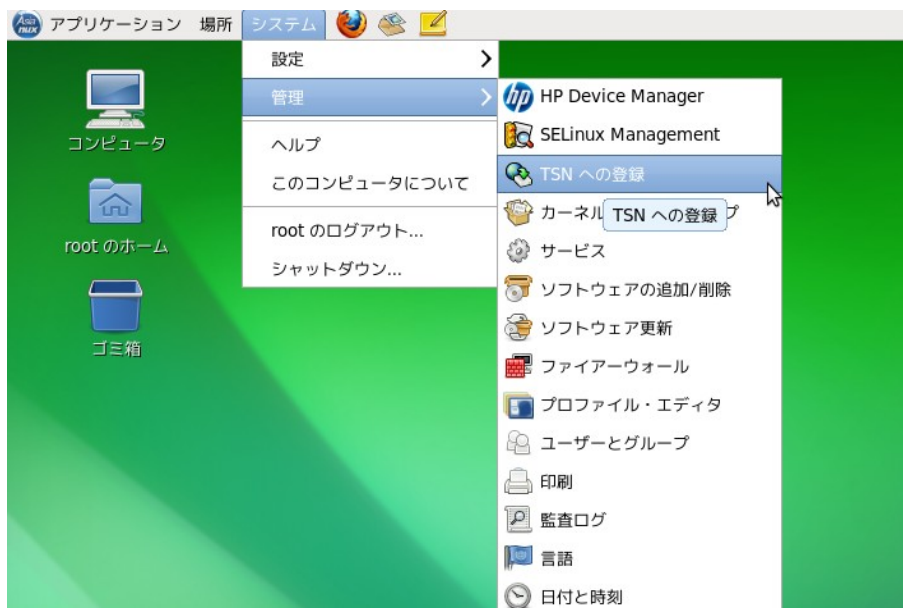
3.1 GUI による登録方法

最初に登録画面を開きます。

Asianux Server 4

<GNOME の場合>

「システム」→「管理」→「TSN への登録」の順に選択してください。



<KDE の場合>

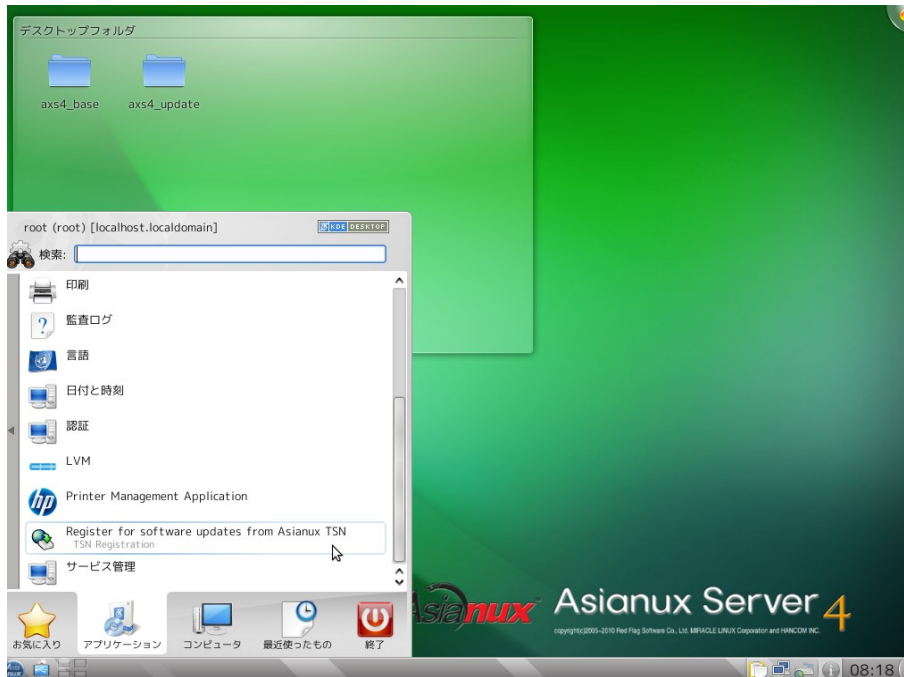
デスクトップ画面左下の「Asianux」のボタンをクリックしてください。



「アプリケーション」タブから「管理」を選択してください。



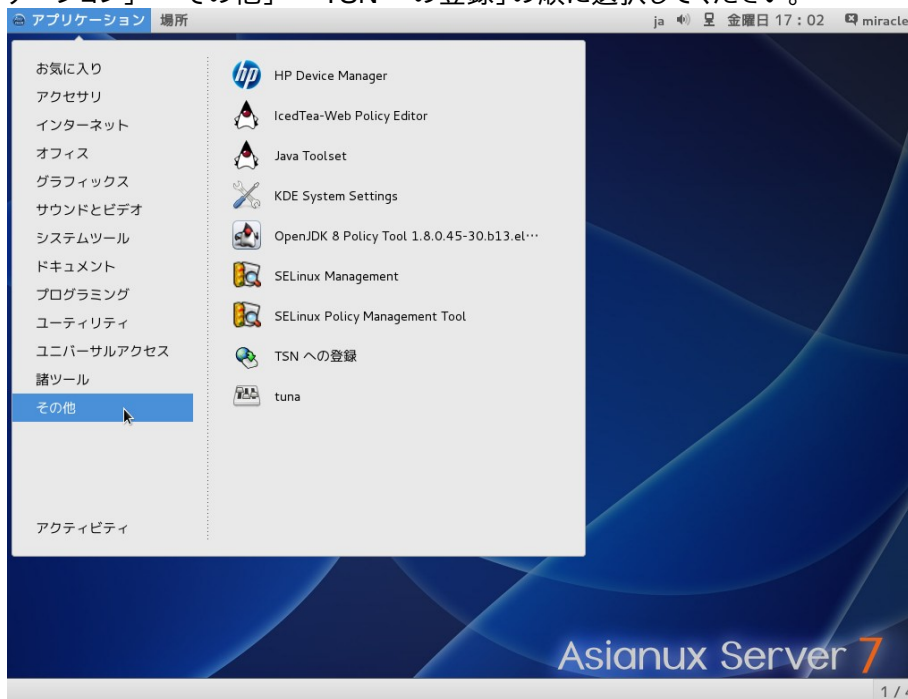
「Register for software updates from Asianux TSN」を選択してください。



Asianux Server 7

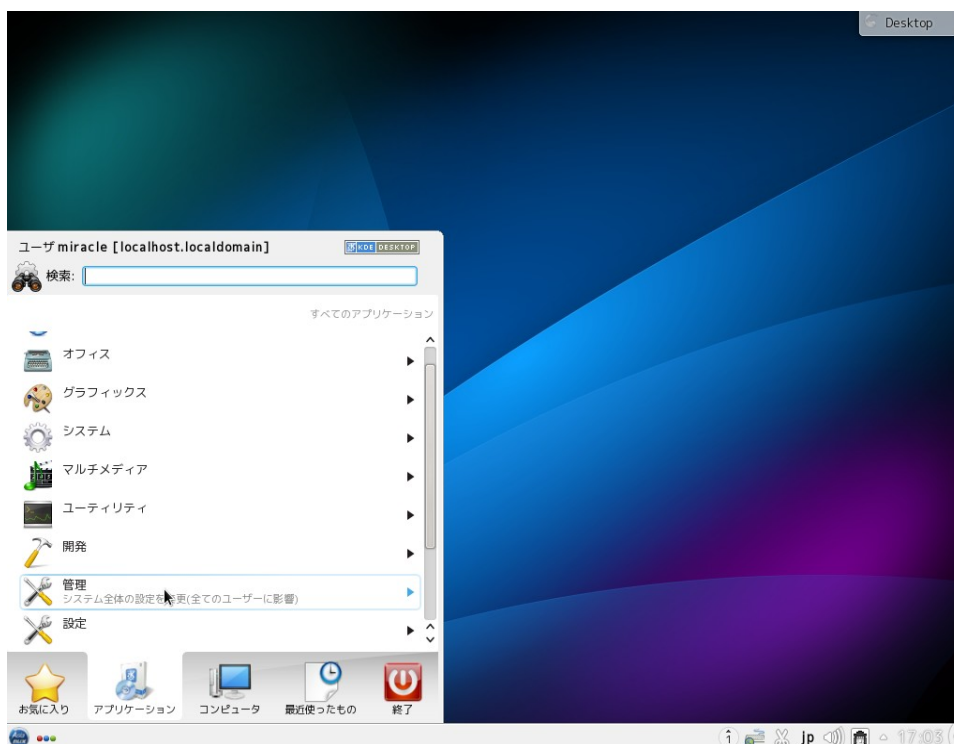
<GNOME の場合>

「アプリケーション」→「その他」→「TSN への登録」の順に選択してください。

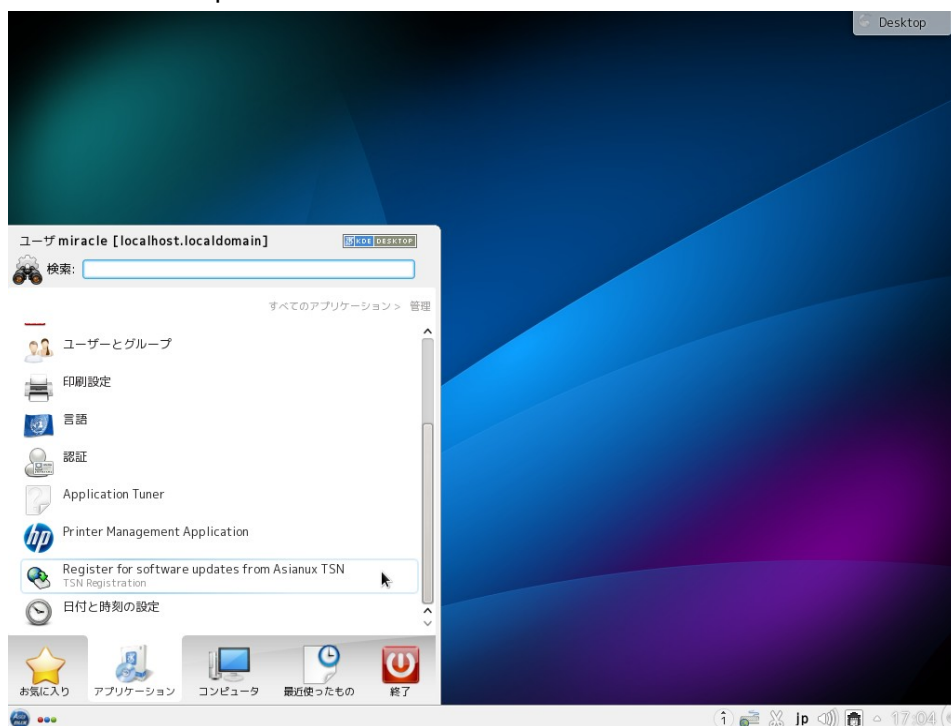


<KDE の場合>

デスクトップ画面左下の「Asianux」のボタンをクリックするとメニューが表示されるので、その中の「アプリケーション」タブから「管理」を選択してください。



「Register for software updates from Asianux TSN」を選択してください。

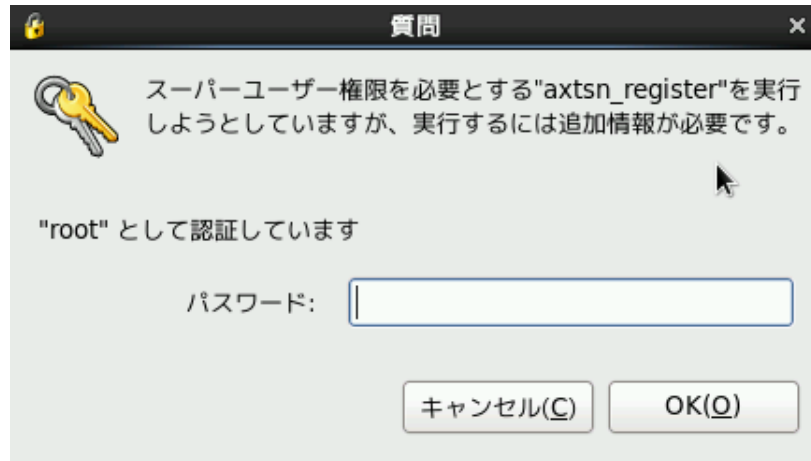


<コマンドの場合>

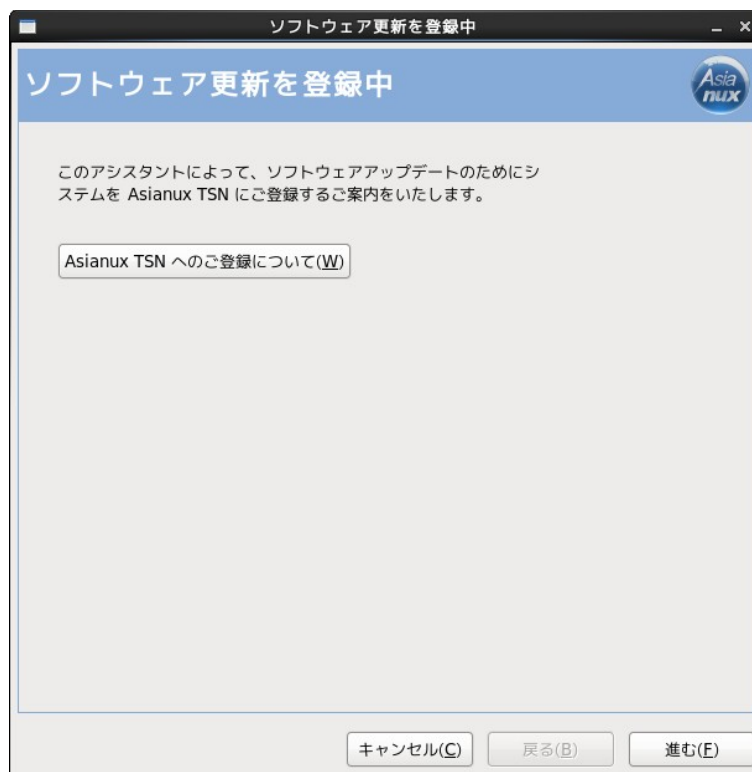
コマンドラインより、以下のコマンドを入力することによっても登録画面を開けます。

```
# /usr/bin/axtsn_register
```

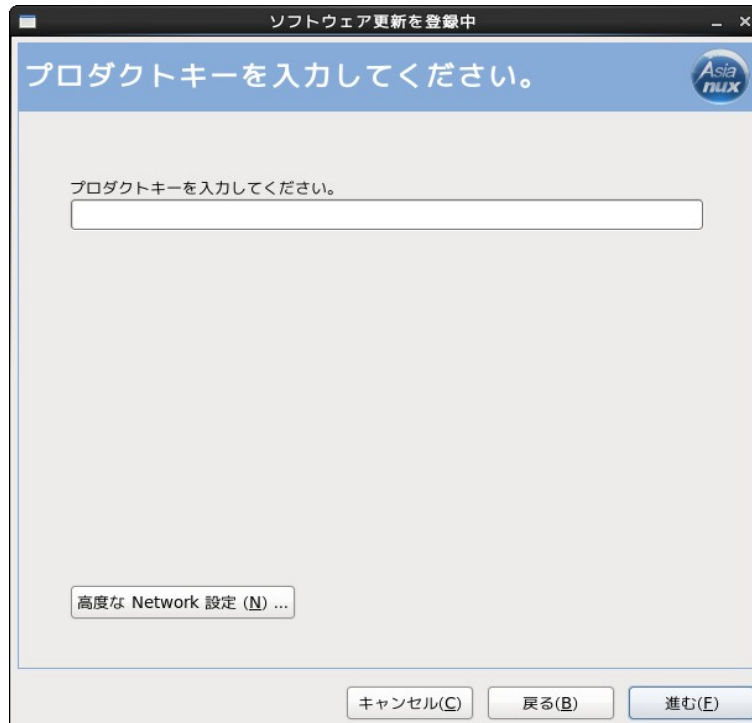
※ root ユーザー以外で起動した場合には、root ユーザーの認証が必要となります。



(1) ユーザー情報の登録をします。「進む (E)」をクリックします。



(2) 事前に製品登録したプロダクトキーを入力後、「進む (E)」をクリックします。



※ 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」をご確認ください。

(3) アカウント情報を入力します。

ソフトウェア更新を登録中

アカウント情報の入力

AsiaNux TSN のアカウント情報を入力してください。
ログインアカウントとパスワードをお持ちでない場合には、次のウェブ
サイトから入手してください。

http://www.miraclelinux.com/user

ログイン名(L):

パスワード(P):

システム名(N):

キャンセル(C) 戻る(B) 進む(E)

各項目を入力後、「進む (E)」をクリックすると、TSN への登録は完了です。

- ・ログイン名(L) : ユーザー登録した ID を入力してください。
- ・パスワード(P) : ユーザー登録したパスワードを入力してください。
- ・システム名(N) : デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。
任意の名前を設定することも可能です。

3.2 インストール直後の設定方法(Asianux Server 4 のみ)

3.2.1 登録手順

インストール DVD を使用して Asianux Server 4 をインストールした場合は、初回起動時の設定 (firstboot) も可能です。以下の「ソフトウェアの更新の設定」画面で「いますぐ登録します (Y)」を選択し、「進む (E)」ボタンをクリックして設定を進めてください。

後から登録を行うこともできます。その場合は「後から登録します (N)」にチェックを入れ、「進む (E)」をクリックしてください。



「いますぐ登録します (Y)」を選択し、「進む (E)」ボタンをクリックした後、プロダクトキーを入力します。



プロダクトキーを入力した後、次にログイン名とパスワードを入力します。

※ 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」をご確認ください。

ようこそ
ライセンス情報
・ソフトウェア更新の設定
ユーザーの作成
日付と時刻
Kdump

Asianux TSN ログイン

Asianux TSN のアカウント情報を入力してください。
ログインアカウントとパスワードをお持ちでない場合には、次のウェブ
サイトから入手してください。

<http://www.miraclelinux.com/user>

ログイン名(L):

パスワード (P):

システム名 (N):




- ・ログイン名(L) : ユーザー登録した ID を入力してください。
- ・パスワード(P) : ユーザー登録したパスワードを入力してください。
- ・システム名(N) : デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。
任意の名前を設定することも可能です。

登録に成功すると、次の画面が表示され、TSN への登録は完了です。

ようこそ
ライセンス情報
・ソフトウェア更新の設定
ユーザーの作成
日付と時刻
Kdump

更新の設定を完了

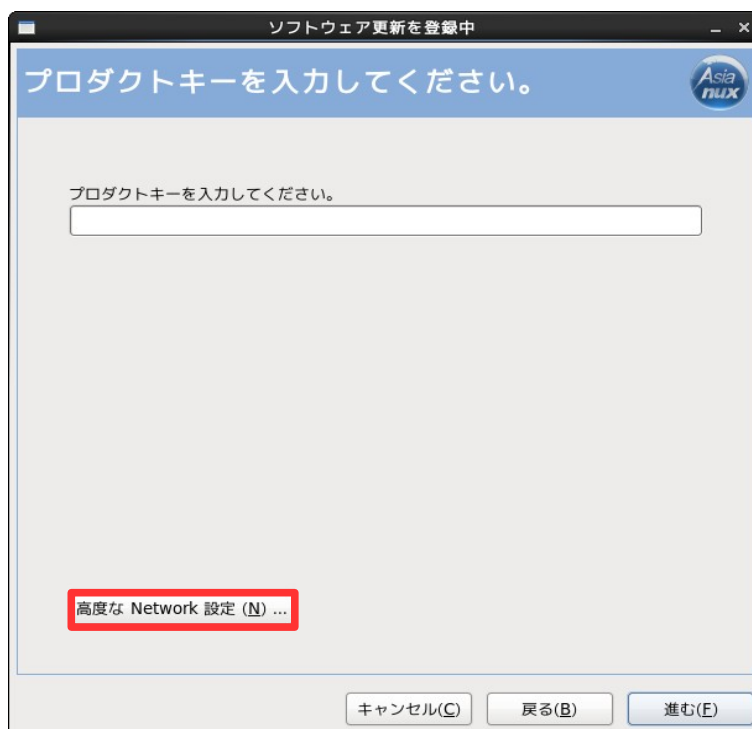
 ソフトウェア更新の設定がこのシステムに対して完了しました。

Congratulations! You have successfully registered
your system with Asianux TSN!

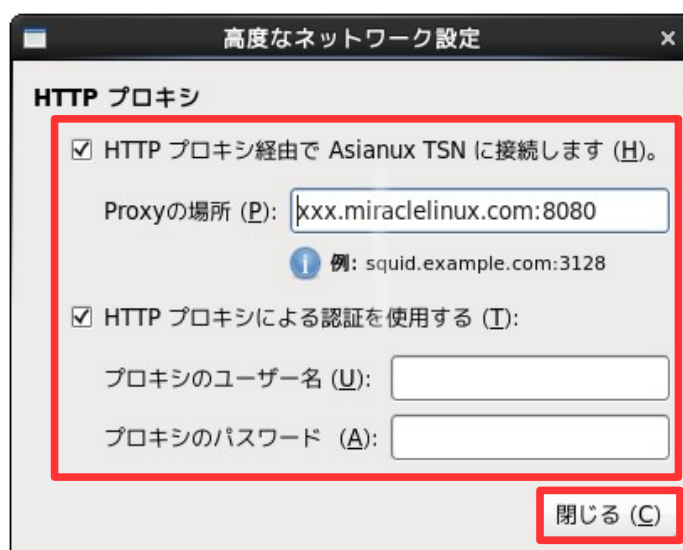


3.2.2 プロキシサーバー利用時の設定手順

- (1) 登録手順のプロダクトキー入力画面を表示します。
※ 手順は、3.1 (1), (2) をご確認ください。
「高度な Network 設定 (N)」をクリックします。



- (2) プロキシ設定 (高度なネットワーク設定) 画面にて、以下の設定を実施してください。
「HTTP プロキシ経由で Asianux TSN に接続します (H)」にチェックを入れ、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定してください。
また、必要に応じて、「HTTP プロキシによる認証を使用する (T)」にチェックを入れ、ユーザー名とパスワードを設定してください。



「閉じる」をクリックすれば設定完了です。

3.3 TUIでの使用方法

3.3.1 登録手順

(1) 登録画面を開きます。コマンドラインより root ユーザーにて以下のコマンドを入力します。

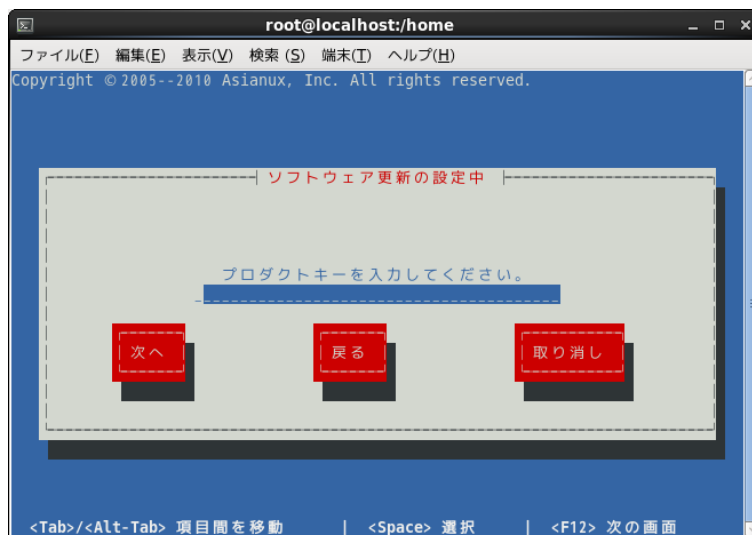
※ 補足事項

HTTP プロキシを使用している場合には、「3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順」をご確認ください。

```
# /usr/sbin/axtsn_register --nox
```

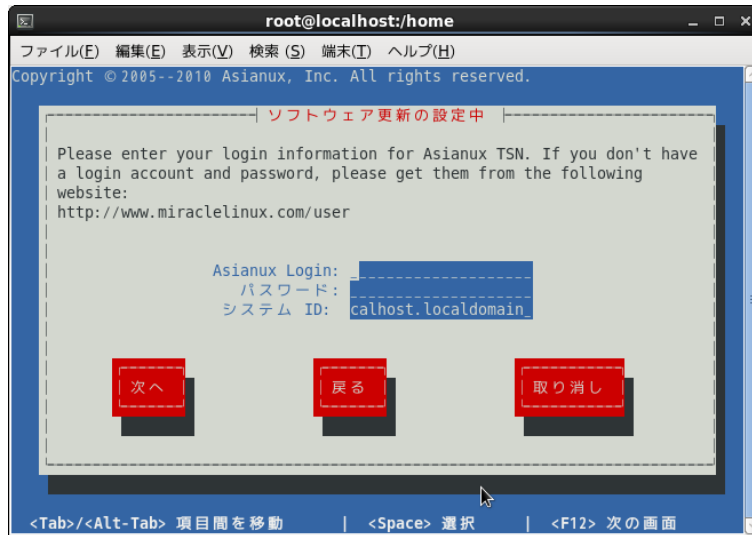


(2) 事前に製品登録したプロダクトキーを入力後、「次へ」を選択します。

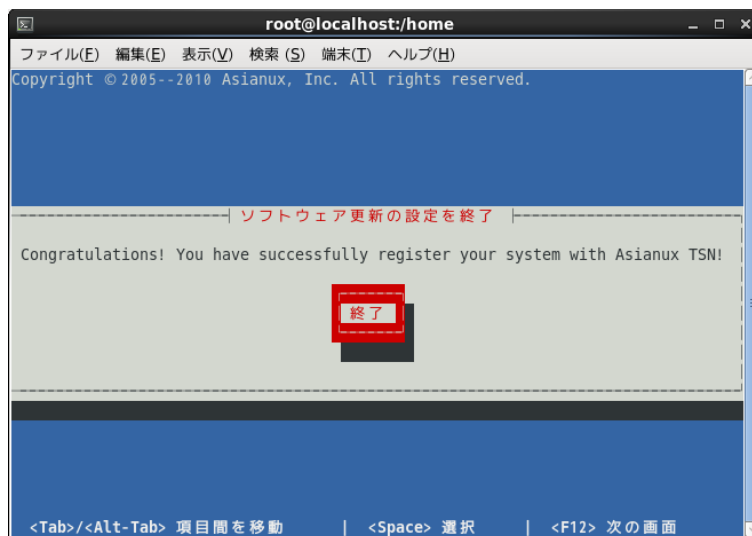


(3) アカウント情報を入力します。

各項目を入力後、「次へ」を選択すると、TSN への登録は完了です。



- ・Asianux Login : ユーザー登録した ID を入力してください。
- ・パスワード : ユーザー登録したパスワードを入力してください。
- ・システム ID : デフォルトではサーバーのホスト名が表示されています。
任意の名前を設定することも可能です。



3.3.2 プロキシサーバー利用時の設定手順

プロキシサーバを利用するには次の手順を行ってください。

(1) 以下のファイルを開きます。

```
/var/lib/axtu/axtu.conf
```

(2) ファイル内の以下の項目を編集します。

- プロキシ使用可否
デフォルトは 0 (OFF) となっていますので、1 (ON) に書き換えます。

```
enableProxy=0
```

```
↓
```

```
enableProxy=1
```

- プロキシサーバー設定
プロキシサーバーのアドレスとポート番号を記述します。

```
httpProxy=
```

```
↓
```

```
httpProxy=xxx.miraclelinux.com:8080
```

- プロキシ認証
デフォルトは 0 (無効) となっていますので、必要に応じて 1 (有効) に書き換えます。

```
enableProxyAuth=0
```

```
↓
```

```
enableProxyAuth=1
```

- ユーザー名、パスワード設定
ユーザー名、パスワードを必要に応じて設定してください。

```
proxyUser=
```

```
proxyPassword=
```

(3) ファイルを保存して設定完了です。

4. 自動アップデートツールのご利用

4.1 yum コマンドによるアップデート方法

4.1.1 yum コマンドの基本

yum を使用するには、yum コマンドを使用します。基本的な書式は以下です。

```
# yum [オプション] [コマンド] [パッケージ名]
```

・インストールもしくはアップデート可能なパッケージの一覧を表示する。

```
# yum list
```

・アップデート可能なパッケージを確認する。

```
# yum check-update
```

・個別にパッケージのインストールを行う。(例: tftp パッケージ)

```
# yum install tftp
```

・システムにインストールされているすべてのパッケージのアップデートを行う。

```
# yum update
```

・個別にパッケージのアップデートを行う。(例: firefox パッケージ)

```
# yum update firefox
```

・個別にパッケージの削除(アンインストール)を行う。(例: tftp パッケージ)

```
# yum remove tftp
```

4.1.2 yum コマンドの使用例

tftp パッケージのアップデートを例に yum コマンドの実行の流れについて説明します。

(1) tftp パッケージのアップデートを行うには、以下のようにコマンドを実行します。

```
# yum update tftp
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
               : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
Setting up Install Process
Resolving Dependencies
--> Running transaction check
--> Package tftp.i686 0:0.49-5.1.AXS4 will be updated
--> Package tftp.i686 0:0.49-7.AXS4 will be an update
--> Finished Dependency Resolution
```

(2) パッケージの検索や依存関係の解決などが行われた後、これから行う処理の内容が表示されます。処理内容に問題がない場合は [y] を入力し、[Enter] キーを押下します。

```
Dependencies Resolved
=====
Package      Arch          Version        Repository     Size
=====
Updating:
tftp         i686          0.49-7.AXS4   axs4_base     30 k

Transaction Summary
=====
Upgrade      1 Package(s)

Total download size: 30 k
Is this ok [y/N]: y
```

(3) tftp パッケージのダウンロードとアップデートが行われます。

```
Downloading Packages:
Setting up and reading Presto delta metadata
Processing delta metadata
Package(s) data still to download: 30 k
tftp-0.49-7.AXS4.i686.rpm | 30 kB 00:00
```

※注意事項

初回使用時は GPG キーを取り込む確認が行われます。

[y] を入力し、[Enter] キーを押下してください。

```
警告: rpmts HdrFromFdno: ヘッダ V4 RSA/SHA1 Signature, key ID 4d10bf19: NOKEY
Retrieving key from file:///usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY
Importing GPG key 0x4D10BF19:
  Userid : Asianux (Asianux) <packager@asianux.com>
  Package : asianux-release-4.0-6.AXS4.i686 (@anaconda-AsianuxServer-
201210251021.i386/4SP2)
  From : /usr/share/doc/asianux-release/RPM-GPG-KEY
Is this ok [y/N]: y
```

tftp パッケージのアップデートが完了しました。

```
Running rpm_check_debug
Running Transaction Test
Transaction Test Succeeded
Running Transaction
Warning: RPMDB altered outside of yum.
Updating : tftp-0.49-7.AXS4.i686          1 / 2
Cleanup  : tftp-0.49-5.1.AXS4.i686       2 / 2
Verifying: tftp-0.49-7.AXS4.i686        1 / 2
Verifying: tftp-0.49-5.1.AXS4.i686      2 / 2

Updated:
tftp.i686 0:0.49-7.AXS4

Complete!
```

4.1.3 yum コマンドの応用

4.1.3.1 インストール DVD を yum リポジトリにする

インストール DVD を yum リポジトリに設定することで、インストール DVD に収録されているパッケージのインストールやアップデートを、「yum コマンド」や GUI の「ソフトウェアの追加／削除」(gpk-application)を使用して行うことが可能です。以下に手順を示します。

1. インストール DVD をマウントします。

2. リポジトリファイルを作成します。

以下にリポジトリファイルの例を示します。yum リポジトリの設定ファイル(/etc/yum.repos.d/ファイル名.repo)を作成します。インストール DVD は/media/Asianux にマウントされているとします。

設定ファイル: /etc/yum.repos.d/dvd.repo

```
# vi /etc/yum.repos.d/dvd.repo
[dvd-axs4]
name=Asianux Server 4 (SP2) DVD
mediaid=1323419991.707402
baseurl=file:///media/Asianux/Server
metadata_expire=-1
gpgcheck=0
enabled=1
```

「mediaid」にはインストール DVD に収録されている.discinfo ファイルに記載されている数字の部分に記載します。mediaid の確認方法は下記のとおりです。

```
# cat /media/Asianux/.discinfo
1351131767.466545 // これが mediaid になります。
Asianux Server
i386
ALL
```

「baseurl」にはインストール DVD のマウントポイントに合わせて”file:///マウントポイント/Server”を指定します。「enabled」には 1(=有効)もしくは 0(=無効)を指定します。

3. リポジトリファイルを作成後、「yum コマンド」もしくは GUI の「ソフトウェアの追加／削除」(gk-application)を使用してパッケージの追加やアップデート等が行えます。

4.1.3.2 グループ単位でインストールをする

各パッケージはグループに分けられています。grouplist オプションでそのグループの一覧が確認できます。

```
# yum grouplist
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
               : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
Setting up Group Process
Installed Groups:
  additional-devel
  albanian-support
  amazigh-support
  arabic-support
  ...
```

各グループに含まれているパッケージを確認するには、groupinfo オプションで確認ができます。以下は network-tools グループの例です。

```
# yum groupinfo network-tools
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
               : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
Setting up Group Process

Group: network-tools
Description: network-tools
Mandatory Packages:
  tcpdump
Default Packages:
  nc
  openswan
```

```
Optional Packages:
  NetworkManager-openswan
```

グループ単位でインストールするには `groupinstall` オプションを使用します。

```
# yum groupinstall network-tools
```

グループ単位でアップデートするには `groupupdate` オプションを使用します。

```
# yum groupupdate network-tools
```

グループ単位でインストールするには `groupinstall` オプションを使用します。

```
# yum groupinstall net-snmp-devel
```

4.1.3.3 キャッシュを作成する

以下に示すように `makecache` オプションを実行すると、現在有効な yum リポジトリのメタデータを事前にキャッシュとして保持することができます。

```
# yum makecache
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
               : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
axs4_base           | 951 B      00:00
axs4_update         | 1.2 kB     00:00
Metadata Cache Created
```

4.2 GUI ツールによるアップデート方法

自動パッケージアップデートツールの GUI として「gnome-packagekit」を使用することができます。「gnome-packagekit」には、「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」と「ソフトウェアの追加 / 削除(ソフトウェア)」の 2 つのウィンドウがあり、各々の主な機能は以下になります。

1. 「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」: システムにインストールされているすべてのパッケージ、もしくは選択したパッケージのアップデートが行えます。
2. 「ソフトウェアの追加 / 削除(ソフトウェア)」: パッケージの追加や削除などの管理が行えます。

※()内は Asianux7 での表記になります。

4.2.1 「ソフトウェア更新(ソフトウェアの更新)」の使用方法

Asianux Server 4

(1) Asianux Server 4 の場合、システムのパッケージにアップデートがあると、通知エリア(デスクトップ右上)にアップデートアイコンが表示されます。



(2) アップデートアイコンをクリックすると「ソフトウェア更新」のウィンドウが開きます。



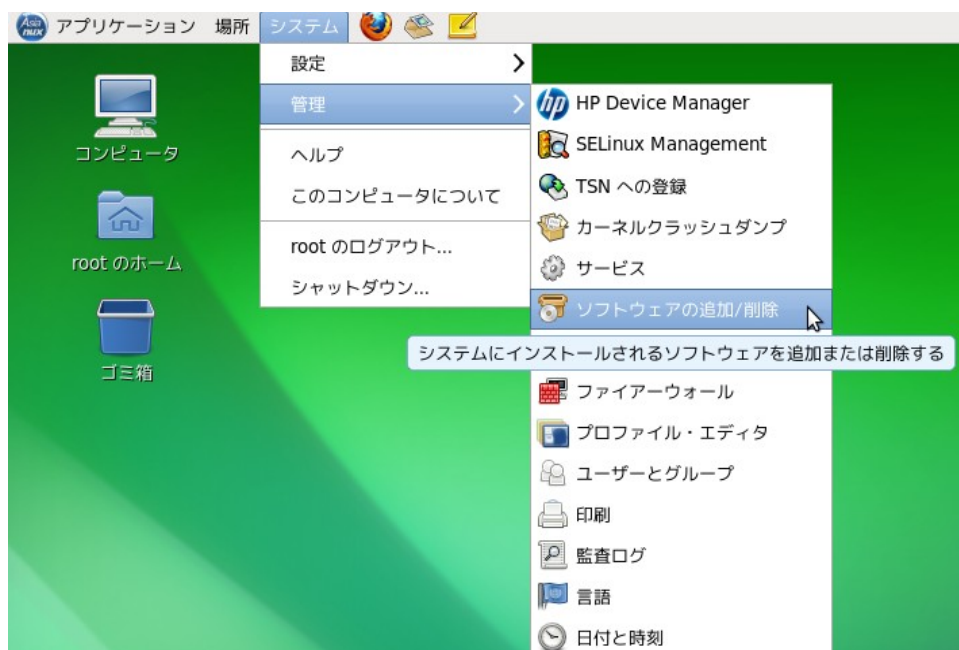
(3) 「更新をインストール (I)」ボタンをクリックすると、選択したパッケージのインストールが行われます。



※注意事項

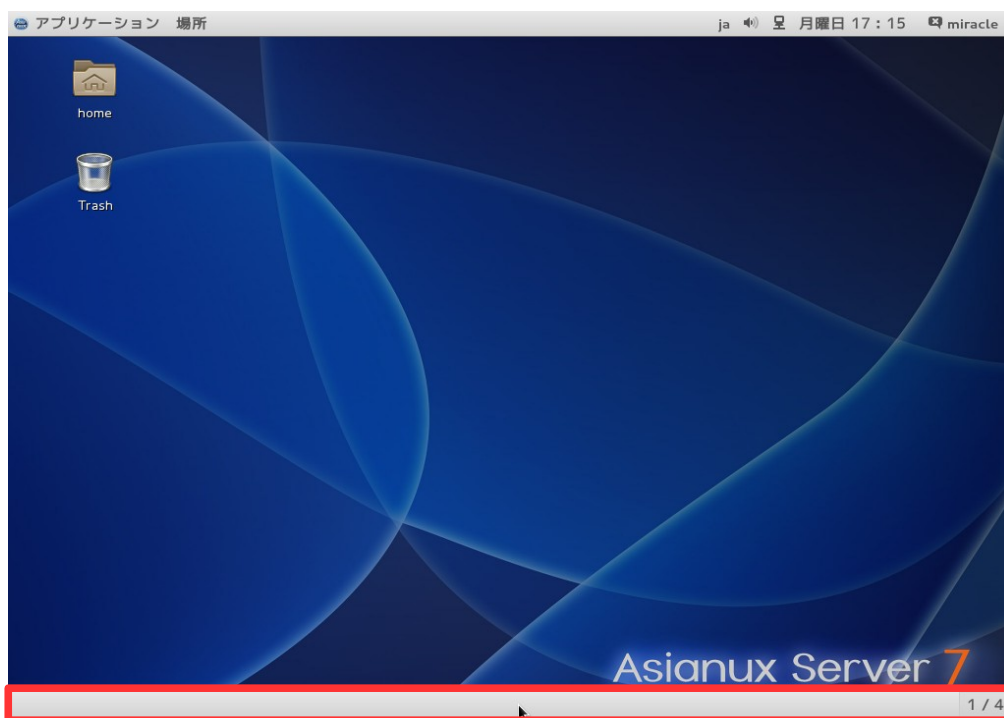
パッケージのインストールやアップデートを初めて行う場合、上のメッセージが表示され GPG キーを取り込むことの確認が行われます。表示された場合は「はい (Y)」を選択します。

また、「ソフトウェア更新」は「システム」メニューから起動することも可能です。

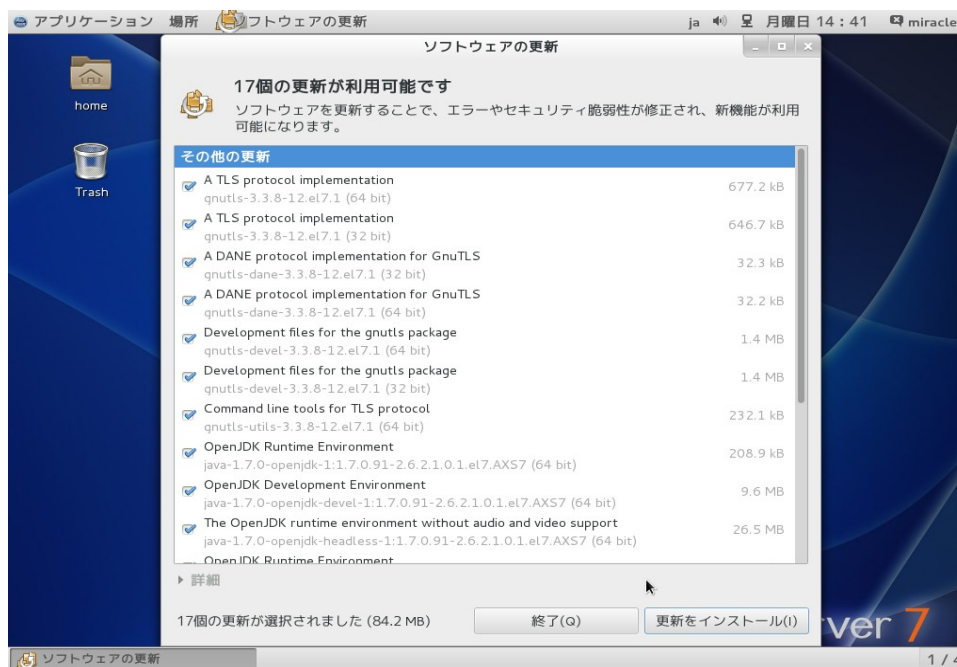


Asianux Server 7

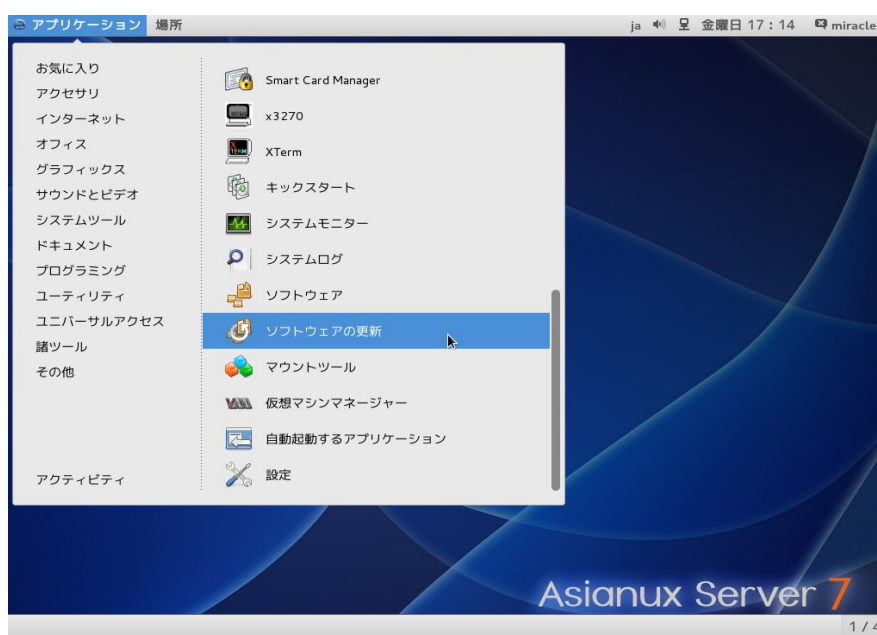
(1) Asianux Server 7 の場合、システムのパッケージにアップデートがあると、通知エリア(図の赤い囲いの付近)にアップデートアイコンが表示されます。



(2) アップデートアイコンをクリックすると「ソフトウェア更新」のウィンドウが開きます。



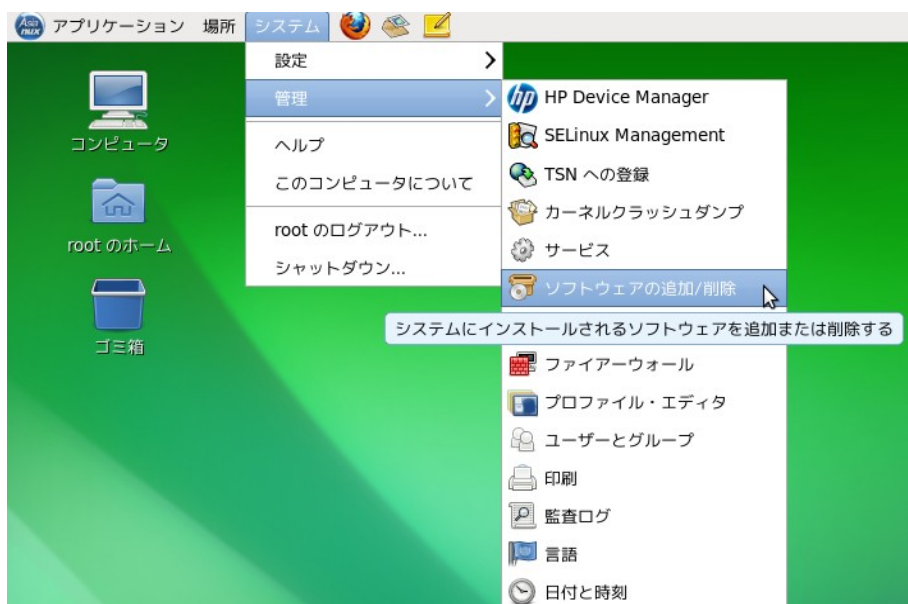
(3)また、「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェアの更新」の順に選択することで起動することもできます。



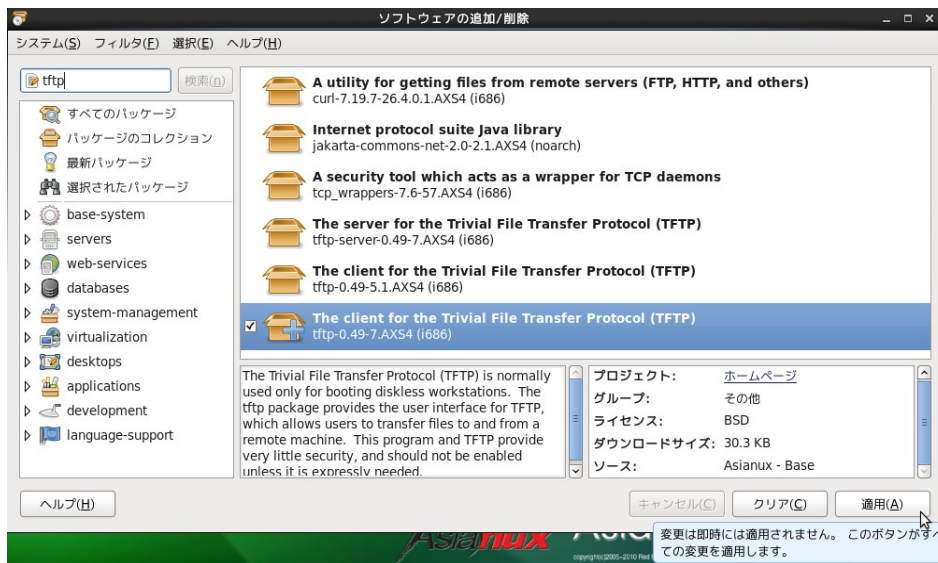
4.2.2 「ソフトウェアの追加 / 削除(ソフトウェア)」の使用方法

Asianux Server 4

(1) Asianux Server 4 の場合、「システム」メニューから「ソフトウェアの追加 / 削除」を選択すると、「ソフトウェアの追加 / 削除」のウィンドウが開きます。

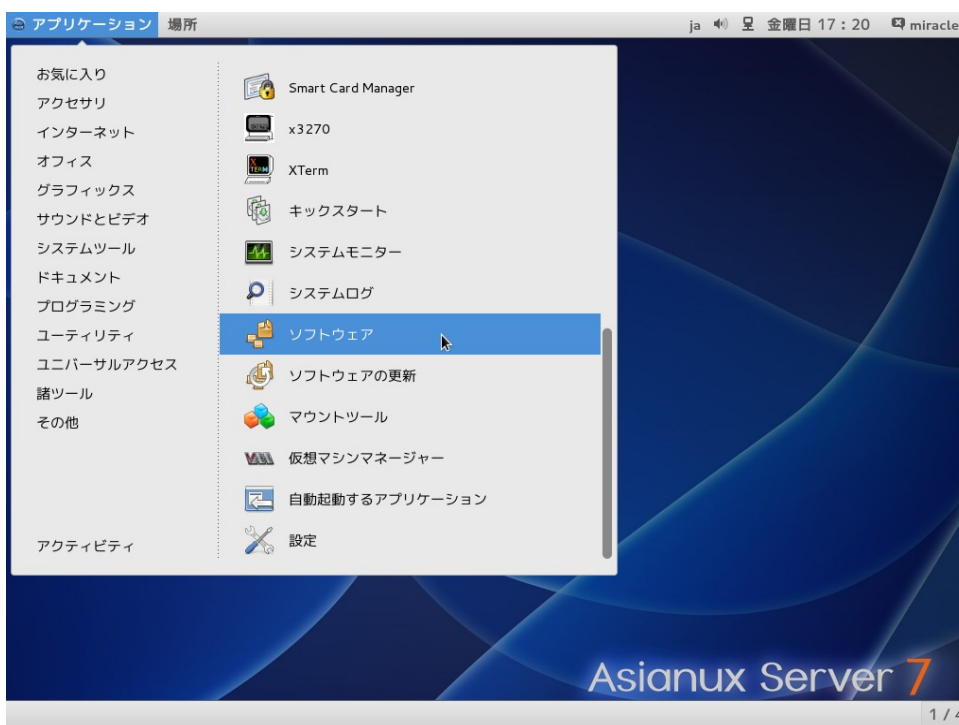


(2) パッケージの選択を行い、「適用 (A)」をクリックすることでパッケージの追加や削除が行えます。

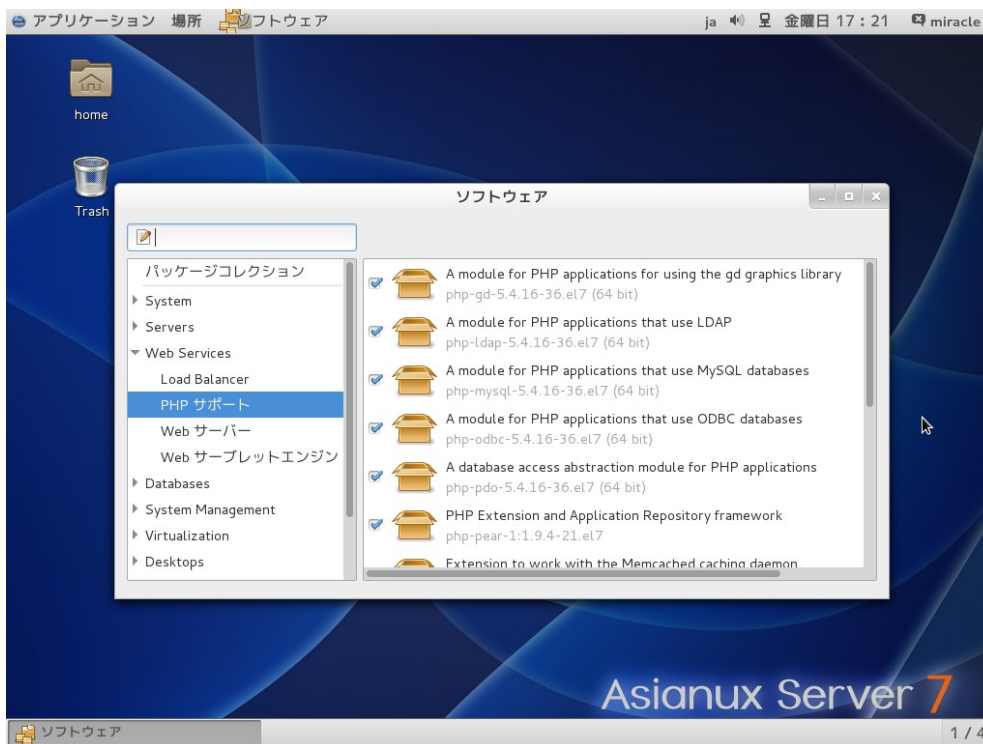


Asianux Server 7

(1)「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェア」の順に選択すると、「ソフトウェア」のウィンドウが開きます。



(2)「ソフトウェア」の画面を開いたら、各ツリーからパッケージを選択すると、追加や削除が行えます。



※注意事項

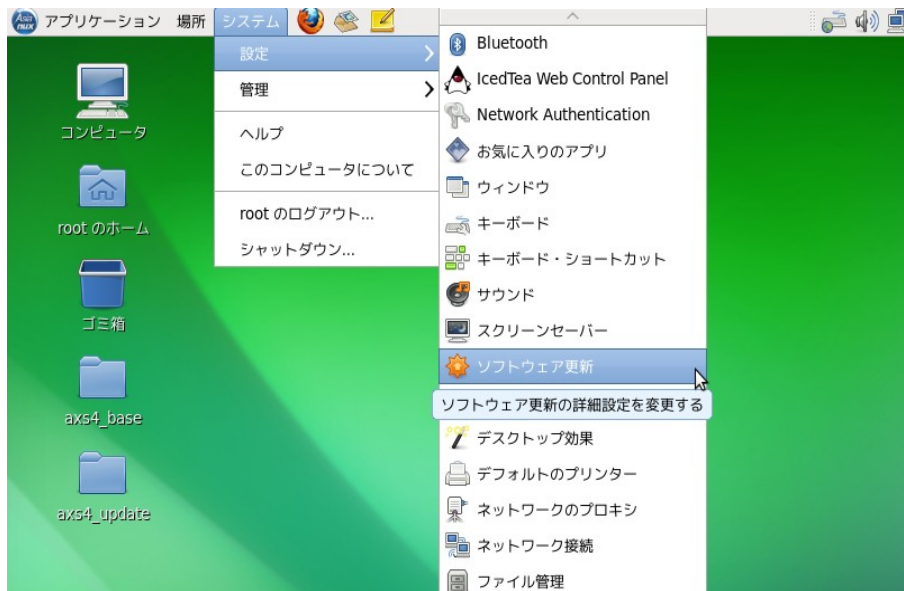
パッケージのインストールやアップデートを初めて行う場合は、以下のメッセージが表示され GPG キーを取り込むことの確認が行われます。表示された場合は、「はい (Y)」を選択します。



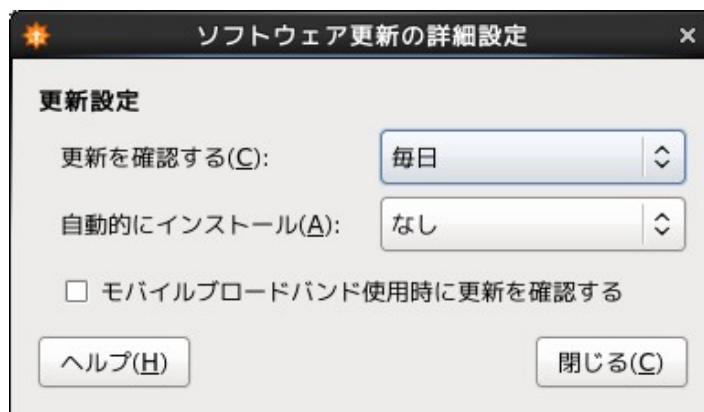
4.2.3 その他の機能

4.2.3.1 「ソフトウェア更新」の設定について

(1) 「システム」→「設定」→「ソフトウェア更新」の順に選択してください。



(2) 「ソフトウェア更新の詳細設定」ウィンドウが開きます。



ここで設定できる内容は次のとおりです。

更新を確認する (C) : デフォルト「毎日」

サーバーに問い合わせる周期を「毎時間/毎日/毎週/なし」から設定できます。

自動的にインストール (A) : デフォルト「なし」

「すべての更新/セキュリティ更新のみ/なし」から設定できます。

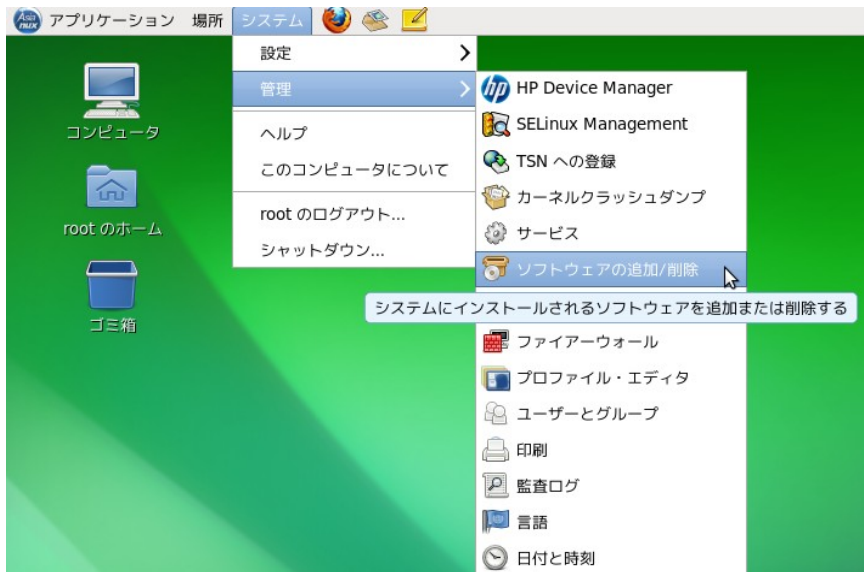
モバイルブロードバンド使用時に更新を確認する : デフォルト 無効

設定を変更し、「閉じる (C)」ボタンをクリックすることで適用されます。

4.2.3.2 ログの確認について

Asianux Server 4

(1) 「システム」→「管理」→「ソフトウェアの追加 / 削除」の順に選択してください。



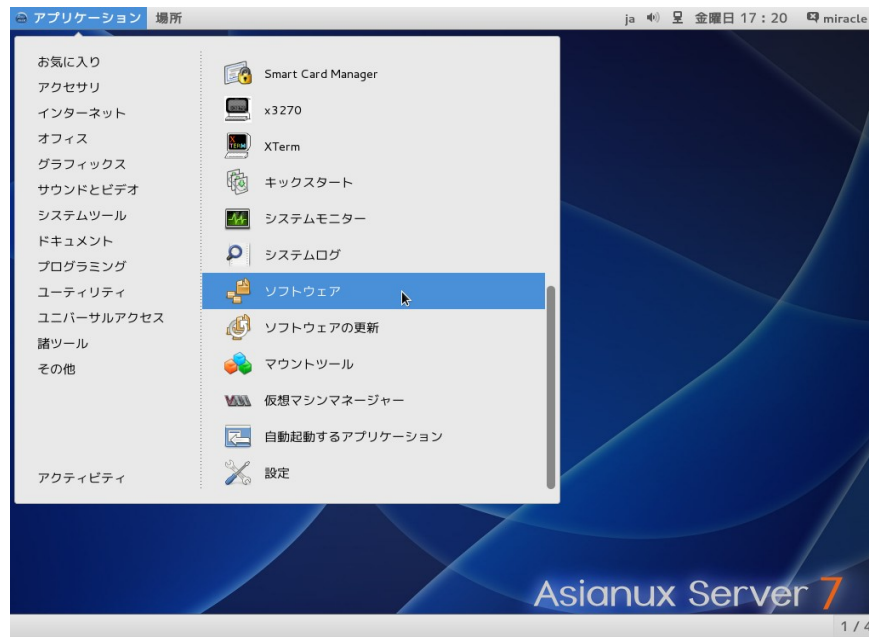
(2) 開いた「ソフトウェアの追加 / 削除」ウィンドウから「システム」→「ソフトウェアログ」の順に選択します。

(3) 「ソフトウェアログビューア」が開きます。

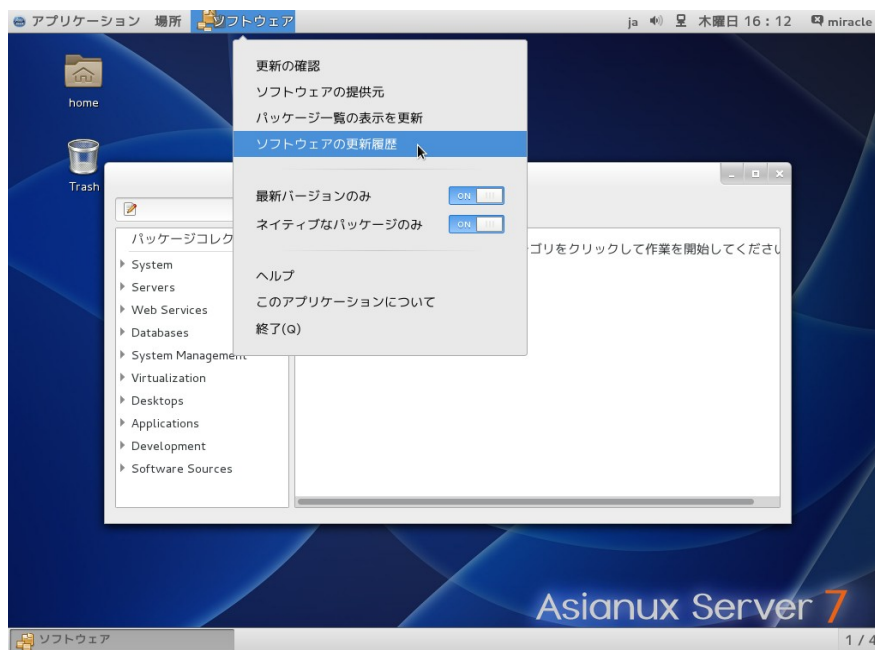


Asianux Server 7

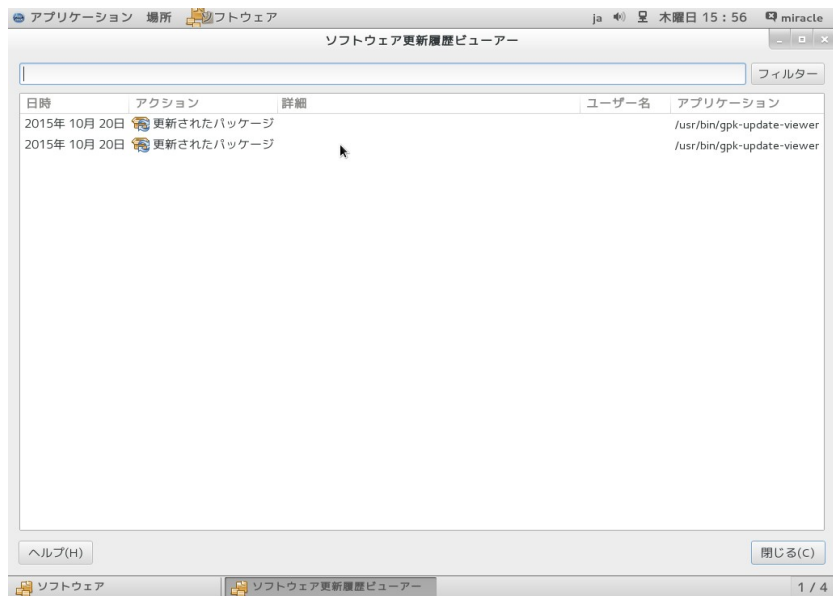
(1)「アプリケーション」→「システムツール」→「ソフトウェア」の順に選択してください。



(2)画面上部にある「ソフトウェア」→「ソフトウェアの更新履歴」の順に選択します。



(3)「ソフトウェア更新履歴ビューアー」が開きます。



また、コマンドラインから以下のコマンドを入力することによっても確認できます。

```
# cat /var/log/yum.log
```

5. トラブルシューティング

5.1 プロダクトキーに関するエラー

(1) プロダクトキーの入力が間違っている場合

以下の画面が表示される場合は、プロダクトキーの入力に誤りがあります。

- GUI の場合



- TUI の場合



対処方法：

(1) プロダクトキーのフォーマットに従っていない場合

プロダクトキーは 5 桁 × 5 の大文字英数字で構成されており、間に - (ハイフン) が含まれる文字列です。

(例) 12345-67890-ABCDE-FGHIJ-KLMNO

ハイフンを入力しているでしょうか、再度ご確認ください。

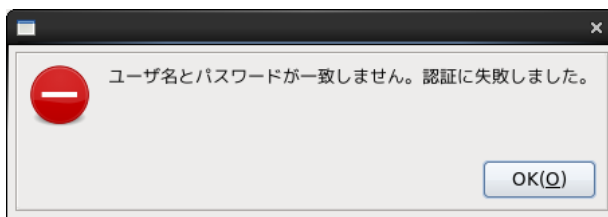
(2) プロダクトキーが間違っている場合

(1) の項目に加え、小文字が混ざっていないか等、お手元のプロダクトキーとあわせてご確認ください。

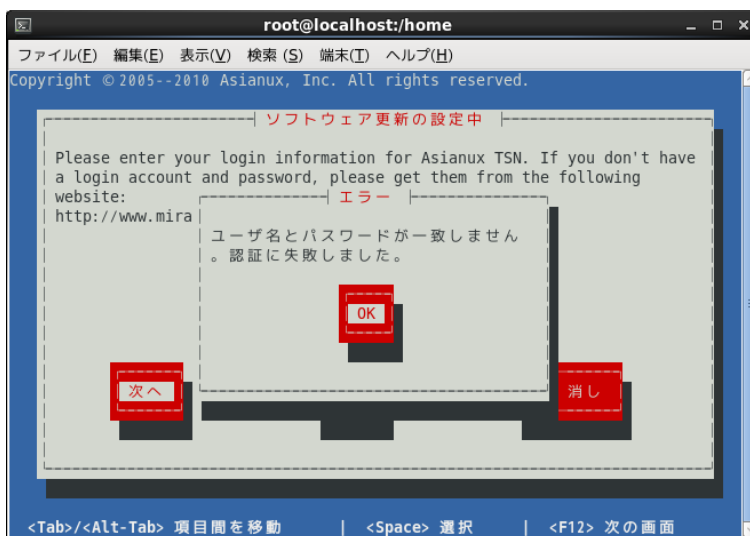
5.2 ユーザー ID、パスワードに関するエラー

以下の画面が表示される場合は、ユーザー ID、パスワード、もしくはいずれの入力にも誤りがあります。

- GUI の場合



- TUI の場合



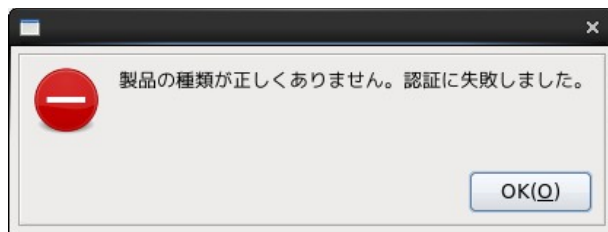
対処方法：

「ユーザー登録」をした際のユーザー ID、パスワードと一致しているか、再度ご確認ください。

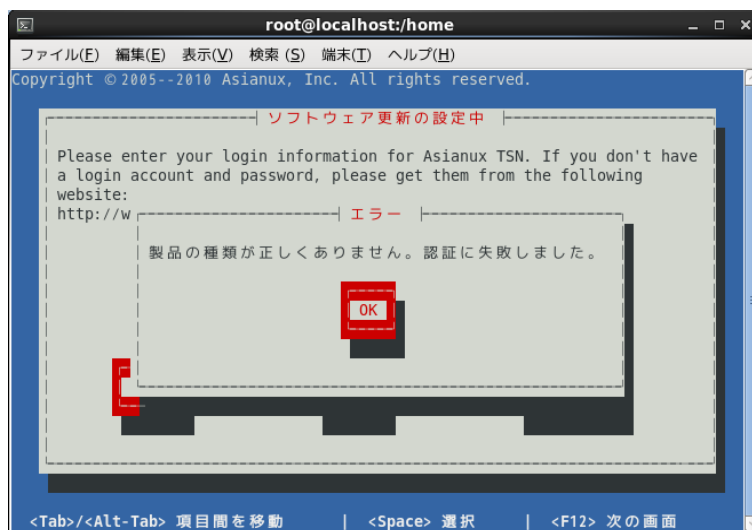
5.3 製品が違う場合

以下の画面が表示される場合は、これから登録しようとしているプロダクトキーが製品登録した際のものとは合っていません。

- GUI の場合



- TUI の場合



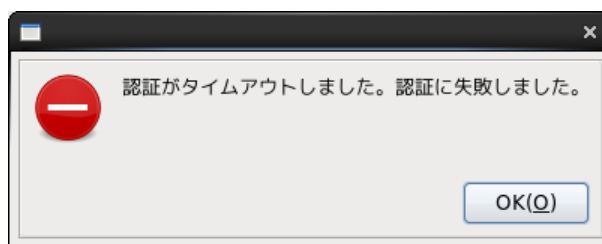
対処方法：

製品登録したものと登録するプロダクトキーが一致しているか、再度ご確認ください。

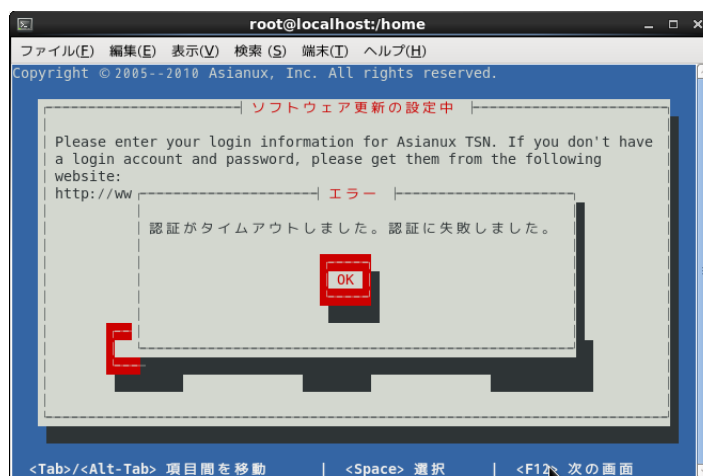
5.4 有効期限が切れた場合

以下の画面が表示される場合は、サポート契約の利用可能期間が終了しています。

- GUI の場合



- TUI の場合



対処方法：

サポート契約を更新してください。

詳細は以下の URL をご参照ください。

<http://www.miraclelinux.com/service/support/ordersheet.html>

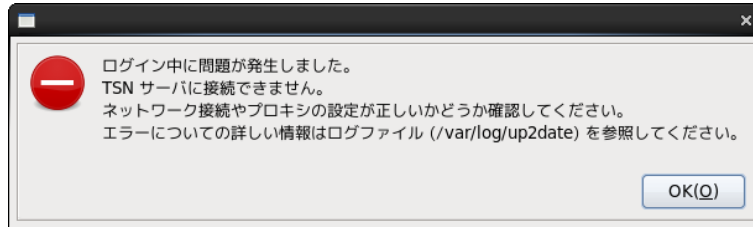
5.5 ネットワークに接続できない場合、または認証サーバーに接続できない場合

以下のようなメッセージが表示される場合、まずはネットワークに接続できているか確認してください。

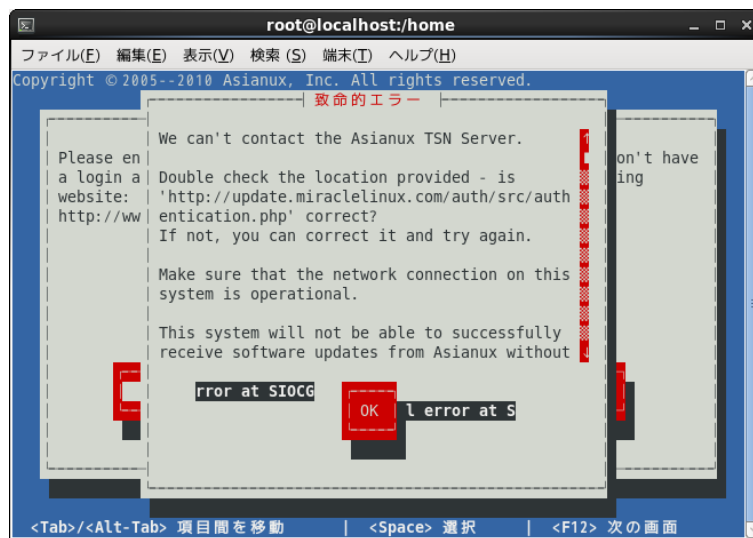
接続できている場合は以下のサーバーの名前解決が可能か確認してください。

認証サーバー名: update.miraclelinux.com

- GUI の場合



- TUI の場合



対処方法:

名前解決ができている、またはネットワークに接続できている場合は、弊社サポートにお問い合わせください。

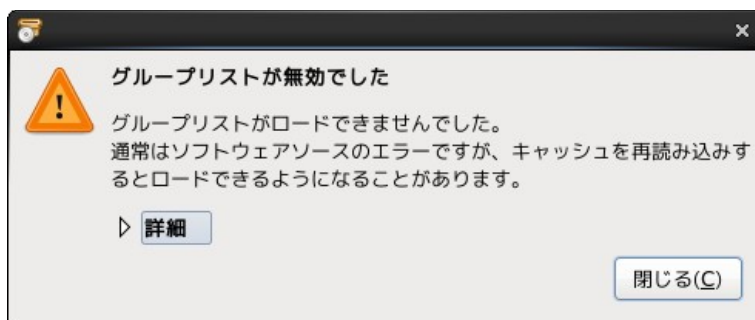
5.6 アップデートサーバーに接続できない場合

以下のようなメッセージが表示される場合、まずはネットワークに接続できているか確認してください。

接続できている場合は以下のサーバーの名前解決が可能か確認してください。

アップデートサーバー名: repository.miraclelinux.com

- GUI の場合



- TUI の場合

```
# yum repolist all
Loaded plugins: aliases, axtu-plugin, changelog, downloadonly, kabi, presto,
               : refresh-packagekit, security, tmprepo, verify, versionlock
Loading support for kernel ABI
repolist: 0
```

対処方法:

名前解決ができていない、またはネットワークに接続できている場合は、弊社サポートにお問い合わせください。

※ 補足事項:

自動アップデートツール(axtu/yum)は 下記の2つのサーバへ接続します。

update.miraclelinux.com

repository.miraclelinux.com

Firewall の設定として、ポートは(80,443)の両方の許可をお願いします。

[更新履歴]

2012 年 12 月 13 日 新規作成

2014 年 11 月 04 日 3.1 / 3.2 プロキシサーバ利用時の設定手順を追記

5.5 / 5.6 サーバ名を追加、補足事項を追加

上記に伴い、目次を更新

2015 年 10 月 27 日 AXS7 について追記